

CNJ Speakers

Know (≠No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
16

Special Talk 子どものがんの今と、未来をつなぐ
レモネード/News/Report/Event Schedule
海外がん医療 TOPICS / 事務局長挨拶



NPO法人日本小児がん研究グループ

水谷修紀 医師

小児がん体験者/みんなのレモネードの会
榮島四郎 君 親子

「小児がんを知ってほしい」

子どものがんの**今と、未来**をつなぐレモネード

「小児がんのことを多くの人に知ってもらいたい」——そう話すのは、小学4年生の小児がん体験者、榮島四郎君。四郎君は、自ら始めたレモネードスタンドの活動により、小児がんの啓発・研究への寄付を行っています。子どもがんだからこそその課題、そして四郎君の活動を、四郎君親子とNPO法人日本小児がん研究グループ(JCCG)理事長の水谷修紀医師が語り合いました。

「子どもでもがんになる可能性がある」と知ってほしい

『将来を担う子どもたち』を
救うための様々な課題

水谷修紀医師(以下、水谷)「小児がんには、大人のがんにはない問題点が多数あります。診断から治療に関してでは、「診断の体制の不備」、「治療法の開発の遅れ」が大きいでしょう。大人ががんと診断されるのは80〜90万人/年と言われていますが、小児がんは2000〜2500人/年ほど。希少であるために正しく診断できる医師が少なく、新薬の開発も後回しになっています。

榮島佳子(四郎君の母/以下、母)「四郎は3歳の時に頭痛・眠気・嘔吐などの症状が起こり、いくつかの病院を受診したのですが、熱中症や胃腸炎と診断されました。多くの医師は「子どもでもがんの可能性がある」ということが頭にないようです。その後も病院によって診断が異なっていました……。そのため、正しい診断と治療にいたるまでに1年弱もかかってしまいました。

水谷「それは大変でしたね。そうならないよう体制を整えることが重要だと、現場の



榮島 四郎 えいしま しろう

2007年8月3日生まれ 横浜市在住。4歳の時に悪性の脳腫瘍(松果体部混合型胚細胞腫瘍)と診断され、開頭手術、化学療法、放射線治療を受ける。母からもらった絵本「アレックスと夢のレモネード屋さん」に影響を受け、2016年末、レモネードスタンドを横浜にて開催。この取り組みを続けていきたいと「みんなのレモネードの会」を立ち上げる。

医療者は考え始めています。具体的には、日本全国の専門家が患者さんの病理組織や検査の画像をオンライン等で共有し、協力して診断と治療を検証する仕組みを作ろうと動いています。

母「それは期待したいですね。最初から適切な処置ができれば予後も変わってくるでしょうし、命が助かる子どももいると思います。

体験しなければ気づきにくい問題点

水谷「治療中のケア」「家族が抱える問題」の中にも、大人のがんにはない点があります。四郎君はどんなことが大変だったかな。
榮島四郎(以下、四郎)「注射が痛かったこと。それと、手術のために丸坊主にした時は泣いた。4ヶ月も入院していたから、時々家に帰れるとよかったな。病院の中にも、もつと家族と遊べる場所がほしかった。」

水谷「大人と子どもでは、入院ひとつでも必要としているものが違いますね。楽しみや遊びを取り入れた治療も現在の課題です。ご家族も大変だったのではないのでしょうか。」

母「入院中は親が付き添っていなければならず、病院に寝泊まりしていました。同室の親御さんも、みんなご飯はコンビニなど。付き添いの費用も結構かかります。下に赤ちゃんがいる場合は、病院内の宿泊施設でおぼあちゃんと一緒にいらって授乳の時だけ病院を抜け出すというお母さんもいました。」
水谷「現在は規則で下の子が病室に入れないところが多く、窓越しに兄弟の様子を眺めて

伝わり、広がる、レモネードの輪

いる姿もあります。入院している子のほか、幼い子どものケアも頭を悩ませる点ですね。

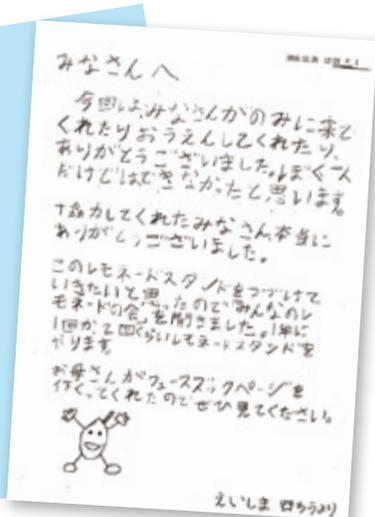
四郎君のレモネードスタンドへの思い

四郎「レモネードスタンドを始めたきっかけは、ママが「アレックスのレモネードスタンド(※)」のことを教えてくれたからなんだ。(※米国の小児がん患者アレックス・スコットさんが、小児がん研究の寄付金集めのために自宅の庭で行ったレモネード販売。全米に広がった)」

母「親によつては子どもに病気のことを話さない人もいますが、四郎には自分の病気を理解して大きくなつてもらいたいと思ひ、「こういうのがあるよ」と伝えました。」

四郎「レモネードスタンドで、小児がんのことを多くの人に知ってほしいな。新聞記者さんに「取材に来てください」と書いた手紙を送ったり、コンビニや学校にチラシを配ったりもした。そうしたらみんなが応援してくれて、すごくたくさんの方が来てくれた。病院で仲よくなつたひとつ下の友達も手伝ってくれたよ。」

水谷「医師だけが小児がん治療の変革を叫ぶのではなく、市民の立場からも声をあげてほしいと思つています。その点、四郎君のレモネードスタンドはとてもインパクトがある。歴史的な意味があると思います。私も応援していますので、がんばってください！」



2016年のレモネードスタンド開催後、四郎君が書いた手紙

「レモネードスタンドをできるだけ長く続けたい」と張り切る四郎君。活動を「みんなのレモネードの会」と名付け、8月には2回目を行うとのこと。佳子さんは「がんになつても元気に成長している四郎が、みんなの希望になつてくれれば」と話します。小さなからは、時に社会をも動かします。四郎君の活動は未来の希望への架け橋となるのではないのでしょうか。

文／木口マリ
 写真／山本華漸

CNJ 運営の「レモネードスタンドジャパン」で集まった募金は、JCCGのほか、日本小児血液・がん学会にも寄付を行っています



(一社) 日本小児血液・がん学会 理事長
檀山 英三

日本小児血液・がん学会は、子どもや思春期、若い成人で「がん」になり苦しんでいる人を少しでも救うために集まっている学会です。若くがんになった人たちが健やかな人生を送れるよう、引き続き応援をお願いします！

8月は岡山で開催！



みんなのレモネードの会

詳しくはFBページにて▼
<https://www.facebook.com/minnanolemonade/>

水谷 修紀

みずたに しゅうき

NPO法人日本小児がん研究グループ(JCCG)理事長
 1948年京都府生まれ。1974年東京大学医学部卒業。英国王立癌研究所留学の後、国立小児病院を経て2000年より東京医科歯科大学小児科で小児がんや白血病、免疫不全症の患者さんを診たり、研究していました。子どもたちの笑顔を大切にできる社会にするのが人生の目標です。

7月6日(木)、開講しました!

第13期BEC (Breast cancer Experienced Coordinator) 乳がん体験者コーディネーター養成講座募集中

今年度は、新たな講師に日本医科大学武蔵小杉病院 勝俣範之先生、杏林大学病院 上野貴之先生、聖路加国際大学大学院 北野敦子先生をお迎えし、さらにパワーアップして皆様のお申込みをお待ちしております!



▲BECの詳細はこちらからアクセス!

今年が目玉は「いちばん星割引」!!!

BEC 認定者全国都道府県制覇を目指し、下記県にお住まいの方に特別割引をご用意いたしました。

山形県・福島県・栃木県・富山県・新潟県・石川県・福井県・滋賀県・和歌山県・島根県・山口県・熊本県・大分県にお住まいの方

今年度に限り、特別割引料金【いちばん星割引】が利用できます! 通常前期受講料 定価 90,000 円のところ、70,000 円で受講いただけます! 詳しくは、cinbec@cancernet.jp へお問い合わせください。



4月22日(土) 第1回BECアドバンス講習会開催

東京八重洲ホールにて、BEC 認定者のための講習会が開催されました。北海道から沖縄まで全国から38名が東京に集結しました。湘南記念病院 乳腺センター 土井卓子先生よりBECに対する期待のお言葉をいただき、昭和大学病院 プレストセンター 中村清吾先生からは患者者として希望が持てる最新治療情報をいただきました。

また、BEC 認定者3期 山崎多賀子さん、5期 吉田久美さん、9期 真水美佳さんからはご自身の活動をベースにした講義、特定社会保険労務士 近藤明美氏から社会保険に関する基礎講座と、明日からの活動にすぐ役立つ情報をたくさん伝授していただきました。参加者の皆様と講師の先生方の熱い思いが一体となり、学ばりあり涙あり笑いありの濃厚な一日となりました。



あなたは科学的根拠のあるがん医療情報を探すことができますか? 第2回CNJがんナビゲーター認定試験のご案内

CNJがんナビゲーター(CCN)認定試験は、がんに関する信頼性の高い情報にアクセスし、理解できるかどうかを評価するための試験です。試験はCNJ理事が監修しており、合格基準を満たした方へ認定証を発行します。申込受付は9月29日(金)17時まで。受験料は1万円。試験期間は10月13日(金)~10月15日(日)です。

昨年実施した第1回CCN認定試験は、患者会活動や病院内や地域でピアサポーターとして活動されているサバイバーの方々、がん医療に関わる仕事をされている方、また医療従事者など多くの方々に受験いただきました。横断的ながん情報の習得とキヤッチアップには是非活用ください。

CCN詳細はこちら▼



<http://www.cancernet.jp/training/ccn>

CNJ CancerNet Japan *How to Live with Cancer*

第2回 CNJがんナビゲーター認定試験

がん医療情報に素早くアクセスし、信頼性の高い情報にアクセスし、理解できるかどうかを評価するための試験です。

申込期間: 2017年 5月1日(月)10時~9月29日(金)17時

受験料: 10,000円

試験時間: 10:13~11:30, 10:15~11:30, 10:30~

試験会場: 日本乳癌学会 東京本部

試験内容: がんに関する信頼性の高い情報にアクセスし、理解できるかどうかを評価するための試験です。

試験結果: 合格者には認定証を発行します。

試験申し込み: <http://www.cancernet.jp/training/ccn>

膵がんを正しく知りたい患者さん・ご家族・市民への33の解答!

患者さん・ご家族・一般市民のための膵がん診療ガイドライン2016の解説

日本膵臓学会 膵癌診療ガイドライン改訂委員会 編



定価(1,800円+税)
ISBN978-4-307-20367-8

乳がん患者さんからの68の質問に対する回答と解説—最新版!

患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2016年版

日本乳癌学会 編



定価(2,300円+税)
ISBN978-4-307-20354-8



創業明治8年 医学専門出版社

金原出版

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03-3811-7184(営業部直通) FAX 03-3813-0288

第15回日本臨床腫瘍学会学術集会
(JSMO2017)

医療従事者向けセミナーを福岡で開催

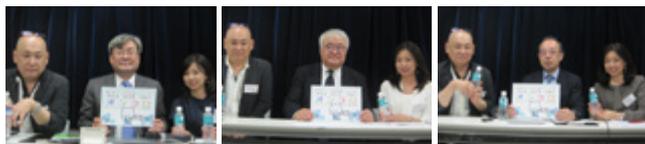
6月17日(土)福岡にて、第15回日本臨床腫瘍学会学術集会 医療者向けセミナー「チーム医療でがん医療を変えよう」の開催をサポートいたしました。当日は、医師、看護師、薬剤師54名にご参加いただき、各領域の専門の先生方からの講演のほか、6名ずつのテーブルに分かれてのグループ討議も行い、密度の濃い時間となりました。



「ここだけ」の話が聞けるとっておきセミナー
OMCE ~ Oncolo Meets Cancer Expert ~

OMCEシリーズ、4月・5月は、乳がんについて「ホルモン療法」「抗がん剤・分子標的薬剤、免疫チェックポイント阻害薬」に分け、それぞれ、福島県立医科大学 腫瘍内科学講座主任教授 佐治重衛先生、昭和大学病院 腫瘍内科診療科長 教授 佐々木康綱先生より、定員いっぱいのお熱気なのか、最新の知見についてご紹介いただきました。

6月は「小細胞肺がん」について取り上げました。講師の近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門 主任教授、中川和彦先生からは参加された33名の方々からのすべての質問に回答いただき、充実した時間となりました。



悪性胸膜中皮腫、胚細胞腫瘍、肉腫(サルコーマ)四肢の肉腫
希少がんを知り、学び、集う
Meet the Expert ~

「まれな」がんのことを「希少がん」といい、人口10万人あたり6例未満のがんのこととされています。その種類は、200にも及ぶと言われており情報も少なく、病気や治療について学ぶ機会が少ないのが現状です。2017年1月より国立がん研究センター希少がんセンター、がん情報サイト「オンコロ」との共催、4月からは公益財団法人正力厚生会の助成を受け開催しています。4月は「悪性胸膜中皮腫 講師：後藤梯先生、5月「胚細胞腫瘍 講師：下井辰徳先生、6月「肉腫(サルコーマ)」四肢の肉腫」講師：小林英介先生にて開催しました。全国の患者さん、ご家族に観ていただけるようCNJ WEBサイトにて講義動画を公開しています。是非、ご活用ください。



「今こそ、患者・医療者が共にルビコン川を渡るとき」
白衣を脱いだ医療者、パジャマを脱いだ患者が、
がん医療を一緒に考えるセミナー2017開催

5月13日(土)グランフロント大阪にて、CNJを含む8団体(認定NPO法人西日本がん研究機構、NPO法人愛知がんネットワーク、がん情報サイト「オンコロ」、NPO法人日本肺癌学会、樋口宗孝がん研究基金、株式会社インテリム、NPO法人肺がん患者の会ワンステップ)で開催し、患者、家族、企業、医療者と様々な立場の方約150名が参加されました。がん対策基本法施行から10年、がん医療のこれまでの振り返りながら、近年のがん医療の進歩と新たに浮上した課題について、医師、学会、メディア、企業、患者の立場でそれぞれ講演し、後半は8名のパネリストによる熱い議論が交わされました。参加者からも「患者、家族、医療者が同会場で学び合うセミナーの発展に期待し感謝致します。希望がもてる、人がつなぐ、人が学び合う力、光を感じるセミナーでした」「患者さんがもっと情報を得て、医療者と対等になってほしいと願う反面、医療者が患者さんより高い立場にいるという思い込みに甘えているところも大きいと思う。このように一堂に会し、同じ講演を聞くイベントを行うことが両者のギャップを小さくする近道のように思いました」「正しい情報を入手する難しさを感じた。メディアが発信する情報を取捨選択しなければならず、知識が必要である。患者さんにとって最善の治療・無駄な治療とは何か、非常に考えさせられた」「色々な立場から現在のがん治療のあり方、問題点など多くの話を聞くことができ、大変勉強になりました。患者が治療について自分で意思決定する時代だということを現場で感じています。意思決定を求められる患者が必要な情報をしっかり理解できないまま、迷いや不安をかかえて治療されている現状も感じます。薬剤師として患者が本場に必要とする情報を患者が理解できる形で提供できるように意識していきたい」と思っています」などの感想が寄せられました。



昨年度実施セミナー・プロジェクトの 参加、利用者数は約**15,000人**でした。 「**がん**チャンネル」での動画の 視聴総数は**270万回**を超えました。

※動画再生回数は公開以降 2017/3/31までの、のべ視聴回数

NPO法人がんサバイバーネットは、これからも、科学的根拠に基づくがん医療情報をあらゆる方法で発信し続け、がんサバイバーの声を広く社会に届けることで、がんになっても、生きがいをもてる社会の実現に向け、邁進し続けて参ります。ご来場いただきました皆さま、ご支援いただきました皆さまに、この場を借りて、御礼申し上げます。

(期間: 2016年 4月 1日～2017年 3月 31日)

活動カテゴリ	プロジェクト	方法	時期	場所	対象	参加人数 (のべ)
疾患別 テーマ別 プロジェクト	大腸がん啓発 ブルーリボンキャンペーン	集客セミナー 6回開催	9 (2回)、10、11、 2、3月	大阪狭山、大分、仙台、 浜松、富山、東京	患者・家族等	2392
		特設 Web サイト運営	通年	Web	患者・家族等	-
		活動に賛同する医師への協力要請	通年	47 都道府県	医師ら 98 名	
		啓発グッズの作成	通年	Web	患者・家族等	
	肺がん 疾患治療啓発キャンペーン	集客セミナー 2回開催	9、10月	名古屋、仙台	患者・家族等	174
		特設 Web サイト運営	通年	Web	患者・家族等	-
	小児がん啓発	小児がん研究支援	3月	NPO 法人日本小児がん 研究グループ	医師	-
		小児がん患者支援 (新古ウィッグプレゼント)	通年	全国	小児がん患者	15
	子宮頸がん啓発 ティール&ホワイトリボン プロジェクト	プラチaname&フォトプログラム プラチaname写真展	8月	東京	一般・患者・家族	-
		特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等	-
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	患者・家族等	-
	Japan Cancer Forum 2016	2日間で 75 のがんに関する 講義・プログラムを実施	8月	東京	一般・患者・家族等	5704
	MBS Jump Over Cancer	報道番組連動 がんサフォーラム	11月	大阪	一般・患者・家族等	800
	胃がん 疾患治療啓発キャンペーン	集客セミナー 3回開催	4、9、1月	立川、札幌、岐阜	患者・家族等	576
		啓発グッズの作成	通年	Web	患者・家族等	-
		特設 Web サイト運営	通年	Web	患者・家族等	-
	Over Cancer Together	ワークショップ形式の スピーチ研修開催	3月	東京	患者・家族等	30
集客スピーチセミナー		8月	東京	患者・家族等	510	
希少がんセミナー	集客セミナー	1、2、3月	東京	患者・家族、 医療従事者等	99	





活動カテゴリ	プロジェクト	方法	時期	場所	対象	参加人数(のべ)
インターネットによる情報発信	がんチャンネル	Web 配信、SNS による拡散	通年	Web	一般・患者・家族等	-
	20 疾患フェイスブック	SNS による拡散、スポット広告	通年	Web	一般・患者・家族等	-
	悪性黒色腫：メラノーマ	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	-
	婦人科がん	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	-
	血液がん	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	-
	多発性骨髄腫	特設 Web サイトでの動画配信	3 月末公開	Web	一般・患者・家族等	-
	造血幹細胞移植	特設 Web サイトでの動画配信	3 月末公開	Web	一般・患者・家族等	-
冊子	ブックレット作成・配布	3 冊作成、1 冊改訂、シリーズ全 24 冊に	通年	全国がん診療連携拠点病院ほか	患者・家族等	-
相談事業	がん体験者ピアサポート	ピアサポーターの派遣 週 1～2 回	通年	大和市立病院ほか 神奈川県内 4 病院、ピアサポートよこはま	患者・家族等	485
	がん情報ステーション	対面でのサポート	5-6 回 / 月開催	東京・大阪	患者・家族等	125
養成講座	CCN: CNJ がんナビゲーター認定試験	Web 試験	12 月	Web	一般・患者・家族等	52 (受験者数)
	BEC: 乳がん体験者コーディネーター養成講座	Web-Learning 講座+対面講習	7～3 月	Web、東京、大阪	乳がん患者ほか	47 (受講者数)
	BEC/CIN フォローアップ	集客 認定者活動報告会開催	8 月	東京	患者・医療従事者ほか	35
	CSS: がん体験者スピーカー養成講座	Web-Learning 講座	通年	Web	患者	10
学会・研究団体等との連携	ONCOLO Meets Cancer Experts (OMCE)	患者、家族向けセミナー共催	毎月	東京	一般・患者・家族等	378
	認定 NPO 法人西日本がん研究機構	市民公開講座	4 月	東京	一般・患者・家族	267
	NPO 法人 愛知がんネットワーク	医療者向けセミナー共催	2 月	名古屋	医療従事者	70
	NPO 法人 近畿がん診療推進ネットワーク	医療従事者向けセミナー 企画・運営	1 月	大阪	医療従事者	112
	第 57 回日本肺癌学会学術集会	患者・家族向けプログラム 企画・運営	12 月	福岡	一般・患者・家族	117
		市民公開講座企画・運営	11 月	福岡	一般・患者・家族	160
	日本肺癌学会主催 市民公開講座	市民公開講座	7、9、11 月	京都、札幌、東京	一般・患者・家族等	537
	第 105 回日本肺癌学会 関西支部学術集会	患者・家族向けプログラム 企画・運営	11 月	東京、横浜	患者・家族等	30
	日本臨床腫瘍薬学会学術集会 2017	市民公開講座企画・運営	3 月	新潟	患者・家族、医療従事者等	300
	青森県がんピアサポート研修会	研修会企画・運営	9、12 月	青森	一般・患者・家族等	30
	第 14 回 日本臨床腫瘍学会学術集会	医療者向けセミナー 企画・運営	5 月	大阪	医療従事者	101
		患者・家族向けプログラム 企画・運営	7 月	神戸	一般・患者・家族等	135
	第 3 回 東京医科歯科大学市民公開講座 「がんを考える」	協力&ブース出展	1 月	東京	一般・患者・家族等	461
	第 7 回 日本大学医学部附属板橋病院・ 帝京大学医学部附属病院 地域がん診療連携拠点病院合同 市民公開フォーラム	協力&ブース出展	3 月	東京	一般・患者・家族等	303
企業協働	かつらのデイリース	提携サロンにてスタイリング・提供	通年	全国	患者	194
	ナース専科タイアップセミナー	集客セミナー 1 回開催	12 月	東京	看護師	70
CNJ 活動報告	季刊誌作成・配布	季刊誌冊子発行・送付	4、7、10、1 月	事務局内	CNJ 支援者ら	-
その他	美恵ママ乳がん基金	いのちと心の授業開催	5 月	東京都文京区 湯島小学校	小学 6 年生	30
	がんの教育	中学校でのがんの授業	11、2、3 月	東京	中学生	250
	企業に向けた事業	社内向け研修企画実施、社内向け動画制作等			製薬・生保等企業社員	300
	小児・AYA 世代支援・治療 研究開発支援	レモネードスタンド	通年	全国 59 カ所	一般	-

7月呉、9月高知、11月札幌で開催します。
大腸がん疾患啓発活動「ブルーリボンキャンペーン」

日本では、大腸がんは年々増えており、2015年のがん罹患数予測で1位となった(※)、日本人にとって「もっとも身近ながん」です。ブルーリボンキャンペーンは、全国の大腸がん治療に携わるブルーリボンキャンペーンアンバサダー(大使)の先生方99名と共に行う大腸がんの啓発活動です。2017年後半は、7月広島県呉市(終了)、9月高知県高知市、11月北海道札幌市にて大腸がん市民公開講座「ブルーリボンキャンペーン」を開催します。大腸がん患者、ご家族、一般の方へ、大腸がんの科学的根拠に基づいた情報を届け、患者自らが治療の選択肢を知り、自分の病状や希望にあった治療を考え、決定する医療環境を目指す。また、大腸がんになっても、健やかに過ごす社会の実現を目指しています。

(※) 国立がん研究センター2015年のがん罹患数死亡数予測

もっと知ってほしい
大腸がんのこと

7/2(日)
呉
くれ絆ホール
(終了)400名参加
総合司会: 中川 圭
(NPO法人広島がんサポート 副理事長)

9/2(土)
高知
高知県民文化ホール
グリーンホール
総合司会: 中井美穂
(フリーアクトンナー)

11/5(日)
札幌
北海道大学
学術交流会館
総合司会: 松本 裕子
(H18 北海道文化放送 医療キースター)

当日参加者には
もれなく冊子を
プレゼント!

ブルーリボンキャンペーンアンバサダー

ブルーリボンキャンペーンでは、大腸がん患者が、居住地区に関わらず、科学的根拠に基づく治療法を知り、自らの意思で治療方法を選択し、患者が自身の責任において納得の上、その治療を受けられるような医療環境の実現を目的としています。その実現のためには、全国各地で大腸がん診療に関わる医療者の協力が不可欠であり、ブルーリボンキャンペーンの趣旨に賛同するアンバサダー(大使)と共に、大腸がんの疾患啓発、科学的根拠に基づく医療の重要性の啓発に取り組みます。

アンバサダーメンバー

<p>ボード メンバー</p>  <p>東京医科歯科大学 名誉教授・特任教授 大腸癌研究会 前会長 杉原 健一 先生</p>	 <p>東京女子医科大学 消化器一般外科 板橋 道明 先生</p>	 <p>大阪大学医学部附属病院 消化器外科 佐藤 太郎 先生</p>	 <p>愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 部長 外米化学療法センター長 室 圭 先生</p>	 <p>フロランニングコーチ (大腸がん経験者) 金 哲彦 氏</p>	 <p>東京医科歯科大学大学院 応用腫瘍学講座 石黒 めぐみ 先生</p>
--	---	--	---	---	--

現在
全国に
99名

メルクセローノ株式会社は、 ブルーリボンキャンペーンを 支援しています!

ブルーリボンキャンペーン(BRC)の支援を通じて

メルクセローノ株式会社は、大腸がんの患者さんおよびご家族の方々への情報提供を目的に、ブルーリボンキャンペーン(BRC)を支援しています。この活動が「医療従事者から患者さんやご家族へ、大腸がんの正しい情報を伝える場となり、患者さんご家族が正しい情報を知るきっかけのひとつ」となるよう、いわば、患者さん、ご家族、医療従事者の方々との間の「橋渡し」になればと願っています。

同時に、私たちにとっては、患者さん、ご家族の方々とのふれあいができる貴重な機会となっています。



2016年9月18日ブルーリボンキャラバンin大会場にて撮影

今年で7年目

2011年の第1回市民公開講座から始まったBRCの活動は、すでに30回の市民公開講座を数えています。参加者の方々からのアンケート集計では、良い評価をいただいております。さらに2014年からは「アンバサダーサミット」を開催し、昨年で3回目の開催を迎えました。

7年目を向かえ、2017年も活動を継続していきますので、お近くで開催の際には市民公開講座に是非ご参加ください。

メルクセローノとは?

メルクセローノは、世界で最も歴史の長い医薬品・化学品企業であるドイツのメルクグループ(Merck KaGA)のバイオフィーマ部門です。本社をドイツのダルムシュタットに置くグローバルカンパニーであり、その起源は1668年までに遡り2018年で創業350年の歴史を持つ会社です。

メルクセローノでは、がん領域を最も注力すべき領域のひとつとして位置づけています。現在臨床現場にお届けしている抗EGFR抗体の他にも、抗PD-L1抗体をはじめとする多くの抗悪性腫瘍剤を開発中です。

私たちは、がん領域の製品を通じ、患者さんQOL向上と、生存延長に貢献していきたいと考えています。

メルクセローノ株式会社

ホームページ

<http://www.merckserono.co.jp>



MERCK

がん医療の専門家から本音が聞ける
50名限定！究極のがん情報セミナー
ONCOLO Meets Cancer Experts

毎回、収録は行わず、ご来場いただいた方限定の「ここだけ」の情報をお届けしています。講師による講演後、ディスカッショントーク、その後、会場からのQ&Aセッションと盛りだくさんの1時間半です！ぜひ、お申し込みください。

7/21 (金) 東京
第19回：血尿で見つかる膀胱がん
その治療の現状と最新的话题を知る
時間／19:00-20:30
場所／ジーニアスセミナーラーム
演者／菊地 栄次 先生 (慶應義塾大学医学部 泌尿器科教室 専任講師)

8/24 (木) 東京
第20回：進化する大腸がん治療の実際
時間／19:00-20:30
場所／ジーニアスセミナーラーム
演者／吉野 孝之 先生 (国立がん研究センター東病院 消化管内科長)

9/26 (火) 東京
第21回：信頼できるがん情報とは？
時間／19:00-20:30
場所／ジーニアスセミナーラーム
演者／後藤 梯 先生 (国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科)

詳細はこちら▶
<http://www.cancernet.jp/event>



希少がんを「知り」「学び」「集う」セミナー！
希少がん Meet the Expert

“まれ”な“がん”のことを“希少がん”といい、人口10万人当たり6例未満のがんのこととされています。その種類は200にも及ぶとされています。そのような背景から、情報も少なく、また病気や治療について学ぶ機会も少ないのが現状です。希少がん Meet the Expertは、国立がん研究センター希少がんセンター、がん情報サイト「オンコロ」、認定NPO法人キャンサーネットジャパンが協力・連携し、毎月第2金曜日に開催するセミナーです。※このセミナーは4月から正力厚生会による助成を受け開催しています。

7/14 (金) 東京
第7回：胸腺腫・胸腺がん ※既に定員に達したため、応募を締め切りました。
時間／19:00-20:30 (開場18:30)
場所／国立がん研究センター中央病院 1F 希少がんセンター待合
演者／後藤 梯 先生 (国立がん研究センター 中央病院 呼吸器内科/希少がんセンター)

8/10 (木) 東京
第8回：小腸がん
時間／19:00-20:30 (開場18:30)
場所／国立がん研究センター中央病院 1F 希少がんセンター待合
演者／本間 義崇 先生 (国立がん研究センター 中央病院 消化管内科/希少がんセンター)

9/8 (金) 東京
第9回：神経内分泌腫瘍 ※既に定員に達したため、応募を締め切りました。
時間／19:00-20:30 (開場18:30)
場所／国立がん研究センター中央病院 1F 希少がんセンター待合
演者／森実 千種 先生 (国立がん研究センター 中央病院 肝胆腫瘍内科/希少がんセンター)

詳細はこちら▶
https://oncolo.jp/rarecancer_mte



肺がん疾患治療啓発キャンペーン
もっと知ってほしい肺がんのこと 2017 ～進歩する肺がん薬物療法を正しく理解する～
9/3 京都、10/29 青森にて開催決定！

共催：日本イーライリリー株式会社

2013年より毎年開催してきた肺がんセミナーですが、今年は京都と青森で開催します。近年肺がんの治療はバイオマーカーの研究が進み、組織型や遺伝子変化の違いに応じて薬を使い分ける「個別化治療」が一般的になっています。昨年よりメディア報道などで注目が集まった免疫チェックポイント阻害薬に多くの患者さんは期待を寄せますが、その対象となる患者さんは限られています。しかしながら、組織型、遺伝子別に、ほかにも新たな分子標的治療薬が登場していることから、昨年に引き続き、薬物療法にテーマを絞って開催します。またセミナー後は患者さん同士のおしゃべり会も企画しています。この機会を是非、学びと交流の場にしていただければと思います。

9/3 (日) 京都
時間／14:00-18:00 (開場13:30)
場所／コープイン京都
詳細はこちら▼
<http://www.cancernet.jp/20926>



総合司会：平井 豊博 先生 (京都大学医学部附属病院 呼吸器内科)
講演 ①肺がんの免疫治療について
金 永学 先生 (京都大学医学部附属病院 呼吸器内科)
講演 ②肺がんの分子標的薬治療について
山田 忠明 先生 (京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科)
講演 ③肺がんの化学療法・支持療法について
高山 浩一 先生 (京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科)
講演 ④肺がん患者連絡会の紹介
長谷川 一男 氏 (肺がん患者の会 ワンステップ)
Q&A ディスカッション
座長：平井 豊博 先生
パネリスト：金 永学 先生・山田 忠明 先生・高山 浩一 先生・長谷川 一男 氏
【肺がん患者さん・ご家族のおしゃべり会】 ファシリテーター：長谷川 一男 氏

10/29 (日) 青森
時間／14:00-18:00 (開場13:30)
場所／ラ・プラス青い森
詳細はこちら▼
<http://www.cancernet.jp/20918>



総合司会：田坂 定智 先生 (弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科)
講演 ①肺がんの免疫治療について
中川 英之 先生 (国立弘前病院 呼吸器科)
講演 ②肺がんの分子標的薬治療について
當麻 景章 先生 (弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科)
講演 ③肺がんの化学療法・指示療法について
長谷川 幸裕 先生 (青森県立中央病院 呼吸器内科)
講演 ④肺がん患者連絡会の紹介
長谷川 一男 氏 (肺がん患者の会 ワンステップ)
Q&A ディスカッション
座長：田坂 定智 先生
パネリスト：中川 英之 先生・當麻 景章 先生・長谷川 幸裕 先生・安ヶ平 英夫 先生 (八戸市立市民病院 呼吸器科・内科)・長谷川 一男 氏
【肺がん患者さん・ご家族のおしゃべり会】 ファシリテーター：長谷川 一男 氏

子ども公開講座

～小児がんってどんな病気？小児がん支援のレモネードスタンドを体験してみよう！～

対象：小学生・中学生・高校生

「小児がん」を知ることから始めましょう！小児がんのドクターによるミニ授業&小児がん支援のレモネードスタンド体験です。夏休みの課題研究のレポートにもなります。※この講座は子どもゆめ基金の助成を受け開催します。

開催日	イベントタイトル	会場
7/15(土)	日本医科大学千葉北総病院 夏休み公開講座 ～小児がん支援のレモネードスタンド～	日本医科大学千葉北総病院 災害研修センター
7/28(金)	聖路加国際病院 夏休み公開講座 ～小児がん支援のレモネードスタンド～	聖路加国際病院 本館 2F トイスラーホール
7/30(日)	神奈川県立子ども医療センター もっと知ってほしい小児がんのこと ～小児がん支援のレモネードスタンド～	神奈川県立子ども医療センター 周産期棟 第2会議室
8/6(日)	国立成育医療研究センター 夏休み公開講座 ～小児がん支援のレモネードスタンド～	国立成育医療研究センター 研究所 2階 セミナールーム
8/27(日)	東京都立小児総合医療センター 夏休み公開講座 ～小児がん支援のレモネードスタンド～	都立小児総合医療センター 1階 講堂フォレスト
9/23(土・祝)	埼玉県民のための医療セミナー もっと知ってほしい小児がんのこと ～小児がん支援のレモネードスタンド～	With You さいたま (埼玉県立小児医療センター隣)

予約はこちらから▶ <http://www.lemonadestand.jp/shounigan>

若年性乳がん体験者の皆さんで集まりましょう 若年性乳がん体験者おしゃべり会 全国キャラバン9月に宮城で開催！

若年性乳がん体験者のおしゃべり会全国キャラバンがスタートします！（企画／CNI、運営／若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring）。
地方都市に住む若年性乳がん体験者に、恋愛・結婚・妊娠・出産・子育て・就労など若年特有の悩みや不安を共有し合えるおしゃべり会をお届けします。さらに、乳腺専門医による若年性乳がんに関する正しい情報をお伝えするセミナーも実施。
9月9日(土)宮城県での開催を皮切りに、北海道（11/19）・愛知県（12/2）・鹿児島県と全国4カ所を回ります。



9/9(土)
宮城
時間／13:00-16:30
場所／仙台市市民活動サポートセンター
参加費／1000円

本プログラムはGapの乳がんサイバー支援のチャリティキャンペーン「ピンク色の未来をつくらう」による寄付で開催します。



申込みフォーム
<https://ws.formzu.net/dist/S67335890/>

海外がん医療 TOPICS

ゲノム解析で進展する 難治性の小児白血病対策

近年の目覚ましいゲノム解析の進展は、小児がんの治療研究にも大きな影響を与えています。米国の TARGET（有効な治療の開発を目的とした治療適用可能な研究）と呼ばれるイニシアチブでは、小児がん研究グループ（COG）と、NCI（米国国立がん研究所）の研究者らが連携して、特定の小児がんについて大規模な多国間共同研究として包括的ゲノム解析を行っています。

昨年からは、TARGET プロジェクトの一つとして、小児急性リンパ性白血病（ALL）の新たな治療選択肢に関する2件の臨床試験が開始されました。ハイリスク ALL 小児患者の白血病細胞のゲノム解析によって、フィラデルフィア染色体様（Ph 様）ALL と呼ばれるサブタイプは、特定の遺伝子変異（融合遺伝子）を含んでいることを TARGET の研究者が発見しました。

融合遺伝子により生成されたタンパク質を持つ白血病細胞は、ハイブリッドタンパク質を標的とするルキソリニチブやダサチニブが有効な可能性があります。これらはすでに FDA 承認を受けた分子標的薬です。

そこで COG は診断検査で特定した Ph 様 ALL 小児患者から、さらに白血病細胞に特定の融合遺伝子がある患者を選定し、化学療法とダサチニブの併用療法を評価する臨床試験と、化学療法とルキソリニチブの併用療法を評価する臨床試験をはじめています。

「TARGET は、ゲノム解析や様々な専門家による共同研究が、小児がん治療の改善に向けた個別化がん治療に貢献できることを示す実例です」と、NCI の担当ディレクターは話しています。

■ TARGET とは？

TARGET は Therapeutically Applicable Research to Generate Effective Treatments（有効な治療の開発を目的とした治療適用可能な研究）の頭文字をとった略称。NCI、全米の大学、がんセンター、小児病院の臨床医、病理学者、科学者、バイオインフォマティクス研究者が参加。多くは小児・青年期がん臨床試験グループ（COG）メンバーでもある。

10年ほど前に小児の ALL と神経芽細胞腫のうち高リスクサブタイプのゲノム変化を研究するプロジェクトから始まった。その後、研究対象のサブタイプの範囲を広げるとともに、小児急性骨髄性白血病（AML）、特定の小児腎臓癌、特定の型の骨肉腫など新たなプロジェクトも開始している。

2017年 **8月19日(土)・20日(日)**

(開場10:00) **10:20-16:30 10:30-17:30**

コングレスクエア日本橋2・3階

東京メトロ「日本橋駅」直結 東京駅日本橋口から徒歩5分

SHIN 時代の幕開け



8月19日(土)【1日目】

*プログラム・講師は予告なく変更になる可能性があります。最新の情報はWEBサイトでご確認ください。

時間	会場名	第1会場(ホールA)	第2会場(ホールB)	第3会場(ホールC)	第4会場(ホールD)	第5会場(ルームA)	第6会場(ルームB)	第7会場(ルームC)
10:20-10:50	オープニングセッション 入門編							
11:00-12:00	大腸がん	OCT サバイバーの 声を聴こう	卵巣がん	前立腺がん	中皮腫	臨床試験の 見つけ方	10:30-12:00 肺がんよろず相談室	
12:30-13:30	すい臓がん		口腔ケア	看取り	頭頸部がん	皮膚がん	12:15-13:30 精巣腫瘍患者の 家族相談室	
14:00-15:00	肺がん	がんと就労	緩和ケア	肝臓がん	肉腫	子宮頸がん	13:45-15:00 皮膚がん/悪性黒色腫 よろず相談室	
15:30-16:30	ガイドラインが できるまで(仮)	BEC/CIN	中国の がん事情	がんリハ	甲状腺がん	子宮体がん	15:15-16:30 緩和ケアよろず相談室	

8月20日(日)【2日目】

時間	会場名	第1会場(ホールA)	第2会場(ホールB)	第3会場(ホールC)	第4会場(ホールD)	第5会場(ルームA)	第6会場(ルームB)	第7会場(ルームC)
10:30-11:30	乳がん	食道がん	漢方	腎がん	胆道がん	10:30-11:45 婦人科がん よろず相談室		
12:00-13:00	免疫療法	胃がん	定年後のがんと お金	小児がん	血液がん	12:15-13:45 スペシャルプログラム 準備中!		
13:30-14:30	あやしい治療に気をつけろ!	乳房再建	おひとりさま	AYA(思春期~若年成人) 世代のがん		14:00-15:15 小児がん(脳腫瘍)・AYA世代 よろず相談室		
15:00-16:00	働く世代のがんと家族	遺伝性腫瘍・ 家族性腫瘍	がんと糖尿病	膀胱がん	スキルス 胃がん	15:30-16:15 原発不明がん よろず相談室		
16:30-17:30	クロージングセッション							

2014年から始まった、がん患者・家族をはじめ、がんに関わる全ての人に向けたがん医療フォーラムの Cancer Forum も、今年で4年目。2017年も昨年同様、8月19日(土)、20日(日)の2日間、渡り、東京・日本橋で開催します。回を重ねる毎に参加者も増え、昨年まで、のべ1万人を超える方にご来場頂いています！開催まであと1ヶ月。プログラムや登壇される講師の方々が決まり、準備もいよいよ大詰めです。今年のテーマは「SHIN・新・真・信・時代の幕開け」。是非、あなたの目で「SHIN時代」をご確認ください！日本最大級のがん医療フォーラムは「Japan Cancer Forum」。是非、ご家族、お友達をお誘いあわせの上、ご来場ください！スタッフ一同、皆さまのご来場をお待ちしております！！

JCF 開催の応援をお願いします!!



現在、JAMMIN 合同会社×CNJのチャリティーTシャツを販売中です。
 Tシャツ1枚につき700円がCNJに寄付されます。皆様、応援宜しくお願いします！
★7月10日(月)～16日(日)の1週間限定販売です★
 デザインのテーマは「それぞれの選択肢」。
 “Your Choice is Your Life” –がんになっても自分らしく生きるための選択肢がある社会を表現しています。



購入はこちらから→ <http://jammin.co.jp>

ジャパンキヤンサーフォーラム

<http://www.cancernet.jp/jcf>



新事務局長 挨拶

2017年4月より、前事務局長の川上祥子に代わり事務局長の任を拝命することとなりました木原康太です。

これまでは緩和ケア領域の臨床試験の支援をしております。これからは臨床試験を支援してきた経験を活かしながら、エビデンスに基づいた情報の発信に努めてまいります。

昨年12月にはがん対策基本法制定より10年が経ち改正法が成立し、がん対策基本推進計画も見直しが進んでおります。今回の改正法より就労や教育などについても施策が拡充されがん対策も新たな時代に入ってきました。CNJもこれまでの活動を継続して行くとともに新たな取り組みにも挑戦していきたいと考えております。

今後とも、ご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



JCCG へのレモネードスタンド寄付金授与の際の記念撮影。左が事務局長の木原

木原 康太 (きはら こうた)

NPO法人キヤンサーネットジャパン事務局長。不動産の営業から医療の世界へ飛び込んで以降、緩和ケア領域の臨床試験の支援組織 JORTCにて研究支援とともに普及啓発にも力を入っていました。

NPO 法人の活動は、その法人のミッションとビジョンに賛同を頂いた企業様・団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。以下のリストは、NPO 法人キャンサーネットジャパンにご寄付、ならびに事業支援を頂いている企業様・団体様・個人様です。

サポーター企業

※掲載順：寄付・事業支援の規模

- 日本イーライリリー株式会社
- 株式会社クリニカル・トライアル
- メルセロノ株式会社
- MSD 株式会社
- 武田薬品工業株式会社
- アッヴィ合同会社
- アボットジャパン株式会社
- ヤンセンファーマ株式会社
- バイエル薬品株式会社
- アストラゼネカ株式会社
- メットライフ生命保険株式会社
- 株式会社東京義髪整形
- ギャップジャパン株式会社
- サノフィ株式会社
- セコム損害保険株式会社
- エイベックスメディカル株式会社
- メディアサイト株式会社
- 金原出版株式会社
- 株式会社メディコン
- ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
- 株式会社 STSP (カマエイド)
- 株式会社ベシエントフッド (じんらぼ)
- 株式会社ヤクルト本社
- 日本ベーリンゲンインゲルハイム株式会社
- 株式会社ツムラ
- ティントリジャパン合同会社
- ジーワークス
- 株式会社ジャンパール

- サンスター株式会社
- メディカルモバイルコミュニケーションズ合同会社
- 大阪ガス株式会社
- オリパスメディカルサイエンス販売株式会社
- 株式会社ダイアナ
- 株式会社洛兆
- アルフレッサファーマ株式会社
- 株式会社経営共創基盤
- グラクソ・スミスクライン株式会社
- コヴィディエン・ジャパン株式会社
- コプラスト株式会社
- 日本化薬株式会社
- 株式会社シーサイドオフィス鹿嶋
- グンゼ株式会社
- 株式会社ティプト
- テルモ株式会社
- 富士フィルムメディカル株式会社
- 株式会社サイキソ
- 遠州鉄道株式会社
- 株式会社グローバルウェイ
- 浜松信用金庫
- 西静岡ヤクルト販売株式会社
- 株式会社レレレ
- ロッシュ・ダイアグノスティクス株式会社
- Fraser's Hospitality Japan 株式会社
- 株式会社小学館集英社プロダクション小学館アカデミー関西
- 株式会社ホスピタリティ・ワン
- 株式会社バル・オネスト
- 株式会社コングレ
- 株式会社新産業文化創出研究所
- 株式会社 STJ レンテック

非営利組織サポーター

※掲載順不同

- NPO 法人西日本がん研究機構
- NPO 法人日本肺癌学会
- NPO 法人近畿がん診療推進ネットワーク
- NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構
- NPO 法人日本がん・生殖医療学会
- NPO 法人神奈川胃癌ネット
- NPO 法人神奈川標準的がん治療開発支援システム
- NPO 法人愛知がんセンターネットワーク
- NPO 法人東北外科臨床研究推進機構 NEXTSURG
- NPO 法人 JORTC
- NPO 法人ブレイブサークル運営委員会
- NPO 法人 GISTERS
- NPO 法人希望の会
- NPO 法人がんと暮らしを考える会
- 公益財団法人前立腺研究財団
- 公益財団法人日本対がん協会

- 公益財団法人日本骨髄バンク
- 公益社団法人神奈川労働安全衛生協会厚木支部
- 一般社団法人 MDRT 日本会
- 一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会
- 一般社団法人日本ライフマイスター協会
- 一般社団法人日本がん看護学会
- 一般社団法人日本しぐさ協会
- 一般社団法人キャンサーフィットネス
- 一般社団法人訪問看護支援協会
- 第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会
- 第 57 回日本肺癌学会学術集会
- 第 24 回日本乳癌学会学術総会
- 第 105 回日本肺癌学会関西支部学術集会
- 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017
- 日本がん免疫学会
- 青森県がん・生活習慣対策課
- 神奈川県
- 相模原市
- 京都府がん総合相談支援センター
- 大和市立病院
- 横須賀共済病院
- 済生会横浜市南部病院
- 藤沢市民病院
- 横浜市立市民病院
- 松愛会松田病院
- 長野県細胞検査士会
- 岐阜県総合医療センター
- 東京医科歯科大学医学部附属病院
- 東京医科歯科大学大学院応用腫瘍学講座
- 東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床栄養部
- 東京医科歯科大学医学部附属病院がん相談支援センター
- 大分大学医学部消化管・小児科外科学講座
- 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会
- SOMPO ちきゅう倶楽部
- 円形脱毛症を考える会
- 樋口宗孝がん研究基金
- すみれ会

助成金

- ASCO トラベルグラント (CNJ スタッフ)
- (American society of clinical oncology)

メディアサポーター

※掲載順：50 音順

- 株式会社エス・エム・エス (ナース専科)
- 株式会社かるてぼすと
- 株式会社ジェイ・ビーアール
- 株式会社毎日放送
- メディアサイト株式会社

レモネードスタンド実施サポーター

※掲載順不同・敬称略

- ギャップジャパン株式会社
- 東急建設株式会社
- コマーニ株式会社
- 東京セキスイハイム株式会社 埼玉支店
- エムズ保険株式会社
- 第 58 回日本小児血液・がん学会学術集会
- 日本医科大学千葉北総病院
- 熊本大学医学部附属病院
- いとばたかいぎつながり隊
- ホスピタル・トイふくい
- Ribinet (福祉美容師ネットワーク)
- NPO PRIC JAPAN BEAUTY
- NPO 法人バボナターレ
- 花とびの店カモマイル
- café merci
- ボーイスカウト魚津第 2 団
- みんなのレモネードの会
- 河野駿平
- 古山裕美子
- 首都大学東京 健康福祉学部
- 東京医療保健大学 医療保健学部
- 羽衣国際大学 現代社会学部
- 新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科
- アルスコンピュータ専門学校
- 北海道旭川東高等学校
- 盛岡白百合学園中学校高等学校
- 宮城県仙台二華高等学校
- 聖ドミニコ学院中学校高等学校
- 尚絅学院高等学校
- 山形県立新庄北高等学校
- 山形県立新庄北高等学校最上校
- 開智中学・高等学校
- お茶の水女子大学附属高等学校
- 都立国際高等学校
- 麹町学園女子高等学校
- 東京インターナショナルスクール
- リトルジェムインターナショナルスクール東京ベイ校
- 神奈川県立相模原中等教育学校
- 新潟県立国際情報高等学校
- 長野県岩村田高等学校
- 長野県伊那北高等学校
- 和歌山県立熊野高等学校
- 愛媛県立弓削高等学校
- 沖縄県立那覇国際高等学校
- 那覇市立小椋南小学校
- 西大和黎明保育園
- レモン原液提供：
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

心から感謝を
申し上げます



個人サポーター

※掲載順：五十音順・敬称略 ※掲載のご許可をいただいている方のみのご紹介です。

- 青木惇子、赤倉功一郎、明石みき、朝野恵、厚地孝子、有澤正子、石黒めぐみ、石黒那男、石澤いずみ、石原眞木子、石山知実、板谷昌子、市川博久、伊藤栄次、伊藤信之、伊藤雅代、井上薫、井上みちよ、岩崎香、岩城恵、岩谷綾子、内村毅、宇都宮安孝、N ファミリー、江越洋二、蝦名章、大形竜也、大澤朋子、太田恭子、大田真平、大西歩、大根田和子、尾形綾子、岡本峰子、小口良江、各務奈保子、笠原卓、勝田恵子、勝俣範之、加藤貴子、金澤和夫、加納敏三、川口美喜子、川越敏章、川原美紀、川村幹夫、木川るり子、木口マリ、北川幸子、北村敏江、木下素子、木原和徳、木村芳、清野幹雄、黒岩美保、黒田裕子、桑原三朝子、桑原澄恵、古賀正浩、小鹿学、小島智治、後藤久雄、小林貴世三、小林智江、小松弥生、齋藤晋士、酒井博美、酒田亜希、櫻洋一郎、佐久間一好、笹木智之、佐藤千鶴子、篠永哲、渋谷昌三、清水敏明、清水秀文、清水裕司、菅原亜希、杉原健一、杉原雅美、杉山愛、鈴木礼子、砂川未夏、砂田勝子、高嵩恒男、高野利実、高柳和人、田口大祐、竹内啓一、武登、武田高德、田島玄太郎、田中由美、谷口久美子、谷真理子、田畑聡子、千葉高子、長明美、堤賢一、角田純子、寺田佳子、堂前皓樹、堂前直美、富内叙子、長尾昌二、中川要、中島陽一郎、長野正章、長船美和子、中山裕樹、西田哲也、西村昌史、新田浩、野崎浩子、野村真人、八田徹夫、馬場康二、東尾愛子、平井茂、平井美和、広瀬真奈美、藤田正子、藤田雄一、藤森康弘、保科ゆい子、堀野恵、前原克章、前原喜彦、牧内秀人、牧野あずみ、正木直樹、松井一恵、松崎匡、松田芳典、三浦恵子、三澤潤、宮崎芳幸、水八寿寿、村上修一、村上利枝、村松昌代、本松裕子、森直美、森下三代、山内やよい、山口勝己、山崎悦子、山崎宏之、山地典子、山本美香、力石素子、ROBERT ESKILDSEN、和田詠太、渡井有紀



早く治ってほしいという
願いを、チカラに。

Science For A Better Life



バイエル薬品株式会社